# 社会資本整備総合交付金事業(H31~R5)

#### パッケージ No.1

インターチェンジや

新幹線駅等への

アクセス性向上を図る

街路整備

#### パッケージ No.2

都市内交通の円滑化と

拠点への連絡強化を

促進する街路整備

#### パッケージ No.3

通学路の安全を

確保する街路整備

#### 指標を用いた達成目標

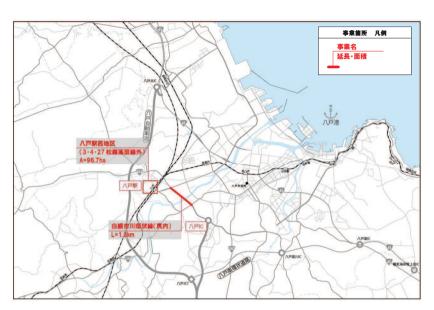
- ○主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大
- ○市街地内の通学路の安全性を向上させる

※街路・・・市街地における都市計画決定された道路

## パッケージNo. 1 インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備

■対象地域	青森県、	青森県、八戸市									
■事業の目的	の形成 ・東北総	を図る			交通ネットワーク お市内交通ネット						
■事業の成果目標	主要拠点	点へ10分で到達	達できる市街	地の拡大							
■成果目標の定義	街化 ②主要	①主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅)へ10分以内に到達できる市 街化区域面積の割合。 ②主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC)へ10分以内に到達 できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合。									
■アウトカム指標の 算定式	(拠点へ 積)×10		達できる市街	<b>f化区域面積</b> /	/市街化区域面						
		110.1 \\\ \forall \forall \forall \forall \rightarrow \forall \forall \rightarrow \forall \rightarrow \forall \rightarrow \forall \rightarrow \forall \rightarrow \forall \rightarrow \forall \forall \rightarrow \forall \rightarr	最終目標	値(R5末)	達成度						
■指標の現況値		H31当初	計画	実績	(実績/計画)						
及び目標値	1	4.3%	<b>5.</b> 3%	4.3%	81.1%						
	2	15.9%	18.5%	15.9%	85.9%						
■対象とする事業	街路事	業、土地区画整	<b>達理事業</b>								
■主な路線	3·3·8号 白銀市川環状線(尻内)、 八戸駅西地区(3·4·27号松森高田線外)										

パッケージ1(八戸市)







### パッケージNo. 2 都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備

■対象地域	青森県、	青森県、むつ市、青森市									
■事業の目的	形成を ・弘前 ・東北総	<ul><li>・東北新幹線新青森駅への連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの 形成を図る</li><li>・弘前市中心市街地の主要幹線道路の整備によりネットワークを形成し、 交通渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上を図る</li><li>・東北縦貫自動車道青森中央ICへの連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る</li></ul>									
■事業の 成果目標	主要拠点	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大									
■成果目標の 定義	②主要/	①中心部(むつ市役所)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。 ②主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森中央IC)へ10分以内に到達で きる市街化区域面積の割合。									
■アウトカム指標 の算定式	(拠点へ ×100	.10分以内に到達	できる市街化区	域面積/市街/	化区域面積)						
		110.1 \\\ \forall \forall \forall \forall \rightarrow \forall \rig	最終目標	値(R5末)	達成度						
■指標の現況値		H31当初	計画	実績	(実績/計画)						
及び目標値	1	42.4%	44.6%	42.9%	96.2%						
	2	13.0%	13.2%	13.0%	98.5%						
■対象とする事業	街路事	<b>光</b>									
■主な路線	3·4·2号 西滝新城線(石江)、 3·4·1号 横迎町中央2号線、 3·2·2号 内環状線(浜田)										

パッケージ2(青森市)









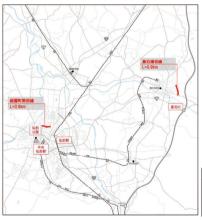


## パッケージNo.3 通学路の安全を確保する街路整備

■対象地域	青森県、	黒石市、青森市	î							
■事業の目的	・緊急合 づけられ	・緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策個所と位置 づけられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する								
■事業の 成果目標	緊急合けられた	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策個所と位置付けられた通学路の整備を促進し、通学路の整備率を15.0%にする								
■成果目標の 定義		①緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置 づけられた通学路の整備率								
■アウトカム指標 の算定式	(対象済	み箇所延長/嬰	<b>夏対策箇所延長)</b>	×100						
		119.1 \V <del>5</del> m	最終目標	値(R5末)	達成度					
■指標の現況値		H31当初	計画	実績	(実績/計画)					
及び目標値	1	0%	14.9%	14.9%	100.0%					
■対象とする事業	街路事業									
■主な路線	3•5•4₹	3·4·2号 西滝新城線(新城)、 3·5·4号 堤町通り浜田線(奥野)、3·4·20号 紺屋町野田線、 3·4·7号 黒石環状線、3·2·2号 内環状線(浜田)								







パッケージ3 (弘前市、黒石市)







社会資本総合整備計画 事後評価書 令和07年01月09日

,													
計画の名	称 インターチョ	ェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上	を図る街路整備										
計画の類	間 平成31年	F度 ~ 令和 O 5 年度 (5年間)									重点配分対象の	の該当	0
交付対	象 八戸市,青森	県											
		、一戸駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセ											
全体事	業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	7, 800 A	7, 800 B	0 C		0 D		0 効果促進事	業費の割合C/	$(A+B+C+\Gamma$	D)	0 %
				計画	画の成果目標(定量的	り指標)							
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	********				定量的指標の現況	 兄値及び目標値		
番号			定量的指標の定	<b>三義及び算定式</b>					当初現況値	中間目			終目標値
								H31当初		R3末	Rf	5末	
1	主要拠点へ10分	で到達できる市街地の拡大						'					
	主要な交通拠点	(東北新幹線八戸駅) へ10分以内に到達	できる市街地(用途地域)面	積の割合。現地走行調査又は	交通各種調査により	算出する	0	4%		4%	5%	%	
	(割合) = Σ拠,	点へ10分以内に到達できる用途地域面積	/Σ用途地域面積 × 100										
2	主要拠点へ10分~	で到達できる市街地の拡大											
	主要な交通拠点	(東北縦貫自動車道八戸IC) へ10分以内	に到達できる市街地(用途地	域)面積の割合。現地走行調	査又は交通各種調査	により算	出する。	16%		16%	19	9%	
	(割合) = Σ拠,	5〜10分以内に到達できる用途地域面積	/Σ用途地域面積 × 100										
								I					
								-					
		備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む		定住自立圏を含む	- 連携中村	図都市圏を含む -	流域水循環計画	<b>重を含む</b> − !	地域再生	計画を含む -

		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業	実施	期間(	年度)	全体事業費	費用	個別施設計
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名							策定状況
						 される効果			1 (1777	V-11	1 1 1 1							7777
		備考																
道路事業		街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	新設	八戸駅西地区 (3・4・27	区画整理 A=96.7ha	八戸市					1, 360		_
	A01-001								松森高田線外) (21-A1)									
														•	•			
		街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線	街路整備 L=1.3km	八戸市					6, 440		<u></u>
	A01-002								(尻内) (21-A2)									
														•	•			
											小計					7,800		
			1				1	I										
					1						合計					7,800		
																1,000		
				ı		ı	1	ı	T	T								
			1	l		I	1	I		<u> </u>								

	事後評価
<ul><li>○事後評価の実施体制、実施時期</li></ul>	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
青森県都市計画課が実施	令和6年度
	公表の方法
	県ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
	・3・3・8白銀市川環状線(尻内)は整備中であり、アクセス性に変化はない。 ・八戸駅西地区(3・4・27松森高田線外)は整備中であり、アクセス性に変化はない。
  定量的指標に関連する	
交付対象事業の効果の発現状況	
定量的指標以外の交付対象事業の	
効果の発現状況(必要に応じて記述)	
○特記事項(今後の方針等)	

〇目	標値の達成	成状況											
来旦	指標(略	<b>F</b> 称)											
留り	日 惊 胆/	大順胆	目標値と実績値に差が出た要因										
	八戸駅10	分圈域内市街化区域面积											
1	最 終 目標値	5%	用地買収に不測の日数を要したため。										
	最 終 実績値	4%											
	八戸IC10分圏域内市街化区域面積の割合												
2	最 終 目標値	19%	用地買収に不測の日数を要したため。										
	最 終 実績値	16%											

社会資本総合整備計画 事後評価書 令和07年01月09日

計画の名	称 都市内交通のF	円滑化と拠点への連絡強化を促進する	5街路整備										
計画の期	間 平成31年月	度 ~ 令和 O 5 年度 (5年間)							重点配分效	象の該当			
交付対象	東 青森県, むつ市	,青森市							·				
計画の目	標東北新幹線新育	f森駅、東北縦貫自動車道青森中央I	C及びむつ市役所への連絡強化	を促進し、都市内交通ネッ	トワークの形成を図	13.							
全体事	業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	1, 938 A	1,938 B	0 C		0 D	0 効果促進事	業費の割合C/(A+B+C	(2+D)	0 %		
					計画の成果目標(定	量的指標)							
									定量的指標の現況値及び目標	票値			
番号			定量的指標の定	当初現況値	中間目標値	最終	目標値						
					H31当初	H33中間	H35末						
1	主要拠点へ10分で到	<b>削達できる市街地の拡大</b>								_			
	主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街地(用途地域)面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 26% 26%												
	(割合) $= \Sigma$ 拠点へ $10$ 分以内に到達できる用途地域面積 $/ \Sigma$ 用途地域面積 $ imes 100$												
-		<b>削達できる市街地の拡大</b>								1			
	市中心部 (むつ市谷	<b>设所)へ10分以内に到達できる市街</b>	也(用途地域)面積の割合。現:	地走行調査又は交通各種調	<b> 査により算出する。</b>			42%	43%	45%			
	(割合) = Σ拠点<	∼10分以内に到達できる用途地域面積	責/Σ用途地域面積 × 100										
- +		前達できる市街地の拡大							1				
		東北縦貫自動車道青森中央IC) へ10g		途地域)面積の割合。現地	是行調査又は交通名	・種調査に。	より算出する。	13%	13%	13%			
	(割合) = Σ拠点<	∼10分以内に到達できる用途地域面和	<u> 責/Σ用途地域面積 × 100</u>										
-										1			
								'		'			
								<u>'</u>	1				
		備考等		個別施設計画を含む -	- 国土強靱化を含	it  -	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計	画を含む   -		

A 基幹事業																		
		事業	地域	交付	直接	事業者	<b>番別1</b>	種別 2	要素となる事業名		事業内容	市区町村名/		施期間(		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		1至//71	1至277 乙	(事業箇所)	(延:	長・面積等)	港湾・地区名	H31 R0	2 R03 R	04 R05	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	り期待る	される効果												
		備考				T			1	T								
道路事業		街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石	街路整備	L=1.4km	青森市	-   -	•		16		-
	A01-001								江) (22-A1)									
								•										
		街路	一般	むつ市	直接	むつ市	S街路	新設	3・4・1号横迎町中央2号	街路整備	L=1.0km	むつ市				633		_
	A01-002								線 (22-A2)									
									1									
		街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	新設	3・2・2号内環状線(浜田	街路整備	L=0.6km	青森市				1, 289		<u> </u>
	A01-003	1,121	,,,,,	137010010		14701111	1.12	101100	) (22-A3)	1. 32 11 11 11 11		14.2811-						
									/ (22 110)									
												小計				1, 938		
												1, 1				1, 950		
			1		1		1		I	T		T						
												合計				1, 938		
					_	1		1	1							, ,		
																	<u> </u>	
														- '	•			
			1			I	1	I	1	1						1		<b>'</b>

	事後	評価
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期
青森県都市計画課が実施		令和6年度
		ハキのナ沖
		公表の方法 県ホームページにて公表
		県ホームページに C公衣
○事業効果の発現状況		
	・3・4・1号横迎町中央2号線は事業中のため、 ・3・2・2号内環状線(浜田)は事業中のため、	むつ市中心部へのアクセス性に変化はない。
	・3・2・2号的泉仏藤(供田)は事業中のため。	、自然中央10~00万万と不住に変化はない。
定量的指標に関連する		
217/13/4 X ** 7/93/X ** 7/13/16/16/16		
  定量的指標以外の交付対象事業の		
効果の発現状況(必要に応じて記述)		
○特記事項(今後の方針等)		

〇目7	票値の達用	<b></b>	
釆早	指標(略	<b>F</b> 称)	
笛ク	目標値/	/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	26%	
	夫領他	0%	
	むつ市役	所10分圏域内市街化区均	
2	最 終 目標値	45%	用地買収に不測の日数を要したため。
	最 終 実績値	43%	
	青森中央	IC10分圏域内市街化区均	或面積の割合
3	最 終 目標値	13%	
	最 終 実績値	13%	

社会資本総合整備計画 事後評価書 令和07年01月09日

1上ユ	其 平 総 石 登 1	用計四 争饭計価書							ŢJ	和07年01月09日
計画の名	称 通学路の安全	を確保する街路整備(防災・安全)								
計画の其	間 平成31年	度 ~ 令和05年度 (5年間)						重点配分対	象の該当	0
交付対	象 青森県,黒石市	ī,青森市								
計画の目	標繁急合同点検	及び通学路交通安全プログラムにより引								
全体事	業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	5, 775 A	5, 775 B	0 C	0 D	0 効果促進事	業費の割合C/(A+B+C	+D)	0 %
				計画	画の成果目標(定量的指標)					
vat 1-1								定量的指標の現況値及び目標	[値	
番号			定量的指標の定	三義及び算定式			当初現況値	中間目標値	最終	終目標値
							H31当初	R3末	R5末	
1	歩道の設置や拡幅	こよって、緊急合同点検及び通学路交通	重安全プログラムにおいて要	対策箇所と位置づけられた通	学路の整備率を15.0%にする	5.				
	要対策箇所と位置	付けられた通学路の整備率					0%	15%	15%	
	(整備率) = (対	策済み箇所延長)/(要対策箇所延長)	× 100							
								I	1	
		備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む -	- 連携中枢都市圏を含む -	- 流域水循環計画を含む -	地域再生記	計画を含む -

A 基幹事業																		
		事業	地域		直接	<b>市 翌 尹</b>	種別1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			引間 (左		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別		間接		1里力11	1里力12	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H31 R	02 R	03 R0	4 R05	(百万円)	便益比	策定状況
			一体的に実施することにより期待される効果														]	
		備考								T								
道路事業		街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(新	街路整備 L=0.6km	青森市				•	1, 110	I	-
	A01-001								城)(24-A1)								L	
																·		
		街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・4号堤町通り浜田線	街路整備 L=0.5km	青森市					639		_
	A01-002	:							(奥野) (24-A2)									
										1								
			-															
		街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線	街路整備 L=0.9km	弘前市					2, 497		_
	A01-003								(24-A3)									
		街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線 (24	   街路整備	黒石市					743		T
	A01-004		1	J		J	0,725	9.71	-A4)	Label Train	7	-	_		_   _			
									1117									
		街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	新設	3・2・2号内環状線(浜田		青森市		Т			786		T_
	A01-005	1	ЛХ	月秋川	巨汉	月本和ロ	の国町	利取	) (24-A5)		H ART    I			-	•   •	100		
									) (Z4-A5)									
		<del> </del>		<del></del>						Т		1						<u> </u>
		<u> </u>						<u></u>			小計					5, 775	L	!
											合計					5, 775	l	
										,						,		
								$\overline{}$										

事後評価					
○事後評価の実施体制、実施時期					
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期				
青森県都市計画課が実施	令和6年度				
	公表の方法				
	県ホームページにて公表				
○事業効果の発現状況					
・3・5・4堤町通り浜田線や3・4・7号黒石場	は状線の整備により、通学路の整備済み延長に進捗が見られる。				
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					
文竹対象事業の効果の先現状体					
定量的指標以外の交付対象事業の					
効果の発現状況(必要に応じて記述)					
○特記事項(今後の方針等)					

〇目	○目標値の達成状況										
7F 17	プロー・										
番号	目標値/	/実績値	目標値と実績値に差が出た要因								
	要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率										
	县 紋	15%									
1	最終 実績値	15%									
	実績値	10/0									